



# ゆかりびと

第 29 回

ヴェルフェ矢板

後藤 裕二

さん

## ヴェルフェ矢板に恩返しを

### プレーで魅了できる存在に



「サッカーに関わるさまざまなことを初めて教えてくれた、ヴェルフェ矢板 福田 丞太郎監督は大切な恩師の一人」そう話すのは、今年2月からヴェルフェ矢板トップチームに加入した後藤 裕二選手です。

後藤選手は矢板市で生まれ育ち、小学生時代にヴェルフェたかはら那須U12でサッカーを始めました。その後、栃木SCジュニアユース、矢板中央高、順天堂大、ソニー仙台FC(JFL)、福島ユナイテッドFC(J3)と、各世代で高いレベルの環境に身を置き、着実に力を伸ばしてきました。矢板中央高時代には全国高校サッカー選手権でベスト8に進出。大会優秀選手に選ばれたほか、高校選抜メンバーとしてドイツで開催された国際ユース大会にも出場しました。まさに、ヴェルフェ矢板から大きく羽ばたいたサッカー選手の一人です。

試合に向き合うモチベーション、食事への意識、仲間への感謝の気持ち。小学生だった自分に足りなかったものを教えてくれたのが福田監督でした。その教えに引き込まれ、次第にサッカーにのめり込んでいったと言います。「あの時の教えが、自分のサッカー人生の軸になっている。つらい時期も含め、ずっと支えになってきた」と後藤選手。大学時代には大きなけがも経験しました。しかしその出来事があったからこそ、筋力トレーニングや食事管理への意識が一層高まりました。どんな経験も自らの糧に変え、一步一步前に進んでいく。その姿勢こそ、恩師から受け継いだ教えです。

「いつかはヴェルフェ矢板に戻って恩返しを」。そんな思いがあった中で、今回の加入について「体が一番キレている今戻ること、より良いパフォーマンスを見せられるから」と決断の理由を語ります。「多くの方に『後藤 裕二のプレーが見たい』そう思うてもらえる存在に」そんなビジョンを描き、新たなステージでの挑戦が始まります。

#### Editor's Note 編集後記

▷「年ごとにゆづりゆづりて 譲(ゆず)り葉の ゆづりしあとに また新しく」毎年この季節になると河井醉茗氏のこの歌が頭に思い浮かびます。私事ですが、この度の人事異動で、秘書広報課を離れることになりました。きれいさっぱりと業

務を受け渡し、新しい芽達に託していきたいと思います。がんばってね～!!取材や会議などでお世話になった多くの皆様、誠にありがとうございました! これからも広報チームへ温かいご声援をお願いいたします!(トラノスケ)